

# 1 安全・安心分野

～安全・安心に暮らせる人にやさしいまち～



1-1 防災・減災対策の充実

1-2 消防・救急体制の強化

1-3 交通安全対策の充実

1-4 防犯・消費生活対策の充実

1-5 原子力災害対策の推進

## 施策 1-1 防災・減災対策の充実

### めざすまちの姿

市民一人ひとりが防災・減災\*に対する知識を身につけ、理解を深めることで、防災意識の高揚が図られるとともに、自主防災組織等の活動の充実により、平時から災害への備えができています。防災力の高い地域社会が実現されています。

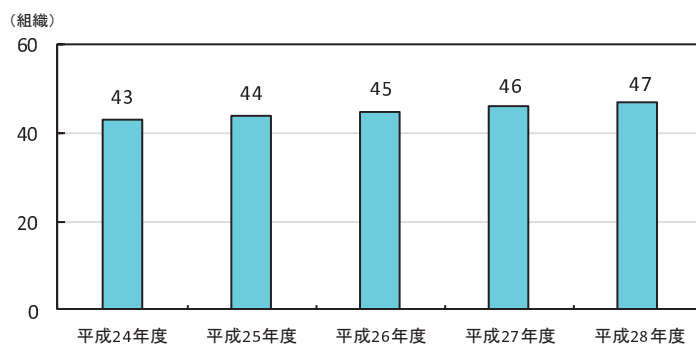
### めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①自主防災組織*数	組織	48	53	増加を目指す
②防災資機材交付組織数	組織	18	23	増加を目指す
③防災訓練への参加団体数	団体	29	48	増加を目指す

### 現状と課題

- 東日本大震災の経験と教訓から、住民自らの「自助\*」、消防団・自主防災組織・企業・関係団体などによる「共助\*」、行政・常備消防・警察・自衛隊などによる「公助\*」の緊密な連携・協力体制の整備が求められており、これに沿った「白河市地域防災計画」を見直す必要があります。
- 防災力の高い地域社会の構築に向け平時から災害への備えができるよう、市民の防災・減災意識の高揚を図る必要があります。
- 地域での自主防災組織育成を強化するとともに、地域の防災拠点となる集会所施設等の整備を推進する必要があります。
- 近隣自治体や友好都市、企業との応援協定を締結し、災害時における応援協力体制を充実させる必要があります。
- 災害時の情報伝達手段を確保するため、情報通信基盤を整備する必要があります。
- 災害から市民の生命と身体、財産を守るために、急傾斜地や河川の改修・整備を推進する必要があります。

### 自主防災組織数の推移



資料：生活防災課



## ■ 主要な取組み

取組み		内容
①	防災・減災意識の啓発	関係機関と連携し、多くの市民等が参画する防災訓練を実施するとともに、防災マップ等の配布や広報紙・出前講座の活用などにより、平時から災害への備えができるよう、防災・減災意識の啓発を推進します。
②	防災・減災体制の強化	「白河市地域防災計画」に基づき、防災並びに災害への対応を円滑に推進するため、計画的な防災・減災体制の充実を図ります。 地域における共助の体制を強化するため、町内会等による自主防災組織の育成・強化を図ります。 関係機関等と災害応援協定を締結し、防災体制の強化に努めるとともに、新たな情報伝達手段の整備を進めます。
③	防災・減災施設の整備	自主防災組織への防災資機材等の整備を進めるとともに、地域の防災拠点となる集会所施設等の整備に努めます。
④	治山・治水対策の推進	災害の未然防止と被害を最小限に抑えるため、危険性の高い急傾斜地や河川の危険箇所を把握し、国・県と連携して改修・整備を推進します。

## ■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み		主体	期待される波及効果
①	自分の身は自分で守るという意識を持って、防災に関する知識を高め、身の回りで実践するとともに、地域での協力体制の確立に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：—
②	自主防災組織の結成や防災訓練の参加に努め、防災活動に積極的に取り組みます。	市民、団体、関係機関	主要な取組み：② 成果指標：①、②

【主な部門別計画】 白河市地域防災計画

## 施策 1-2 消防・救急体制の強化

### めざすまちの姿

地域の安全を守る人材の確保や施設の整備により、緊急時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立することで、地域住民が安心して暮らせる環境が整っています。

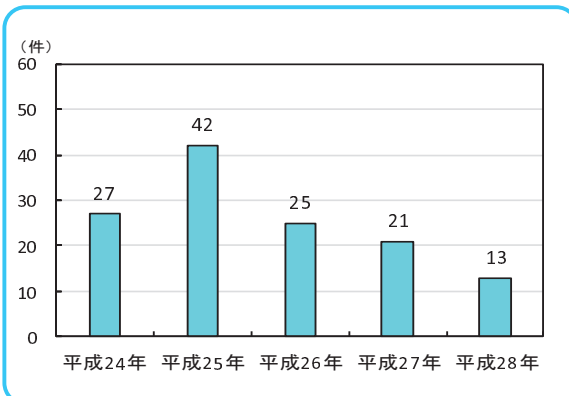
### めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①火災発生件数	件/年	31	28	減少を目指す
②消防団員数の条例定数に対する充足率	%	95	96	増加を目指す

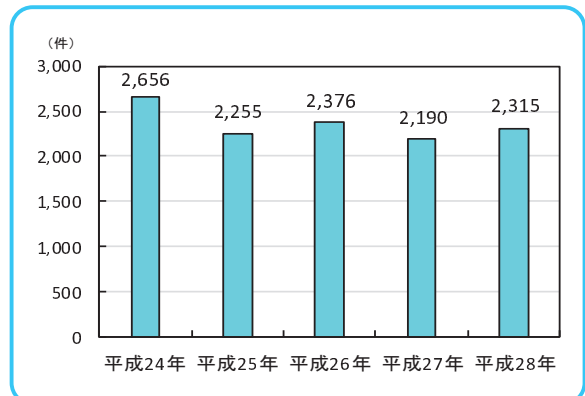
### 現状と課題

- 東日本大震災などの経験から、地域の防災の担い手としても消防団の重要性・必要性は、ますます高まっており、さらなる消防体制の強化が求められています。
- 地域防災力を強化するため、防火意識の啓発や消防施設等の計画的な整備が必要です。
- 消防団員の高齢化や団員不足が顕著であるため、活発なPR活動等により新入団員の加入促進に努めるとともに、団員が活動しやすい環境整備を図ることが必要です。
- 高齢化の進行等により、救急需要は拡大・多様化しており、救急・救助体制の充実や、市民への救命救急に関する正しい知識と技術の普及を図ることが必要です。

### 火災発生件数の推移



### 救急出動件数の推移



資料：白河地方広域市町村圏消防本部



## ■ 主要な取組み

取組み		内容
①	防火意識の啓発	地域の火災予防力を高めるため、広報紙等による情報提供や市民参加の消火・避難訓練の取組みを進め、防火意識の啓発に努めます。 高齢者などの災害弱者をはじめすべての市民を火災から守るため、住宅用火災警報器の普及や家庭における防火対策を促進します。
②	消防体制の充実	災害時の応急対策等が迅速かつ的確に行えるよう、白河地方広域市町村圏消防本部、市民、事業者、関係団体との連携による総合的な消防体制の充実を図ります。 消防団の活動に対する周知・啓発を図り、団員が活動しやすい環境づくりや新入団員の加入促進に努めます。
③	消防施設の整備	火災の発生に際し、迅速で確実な消防活動を行うため、消防施設や車両・資機材の整備、消防水利*の充実に努めます。
④	救急・救助体制の充実	白河地方広域市町村圏消防本部における救急隊員や救助隊員の計画的な配置や資質の向上を支援するとともに、医療機関との連携体制を強化し、救急・救助体制の充実に努めます。
⑤	市民への救命救急知識・技術の普及	救急車の利用のあり方について周知・啓発活動を推進するとともに、救急隊到着までの間に市民等が処置を行えるよう、AEDに関する講習会等の実施により応急手当の普及啓発を図ります。

## ■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 火災に対する正しい知識を身に付け、防火への意識を高めるとともに、防災訓練への参加に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：①
② 消防団への理解を深めるとともに、消防団活動に協力・参加することで、地域の安全確保に努めます。	市民、団体	主要な取組み：② 成果指標：②
③ 救急車の利用のあり方を理解し、適正利用に努めるとともに、救命救急の知識を学び、技術を身に付け、実践します。	市民、団体	主要な取組み：⑤ 成果指標：—



## 施策 1-3 交通安全対策の充実

### めざすまちの姿

市民一人ひとりの交通安全意識の醸成が図られ、交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践しています。

地域ぐるみによる活発な交通安全活動などが行われ、安全な交通環境が整うことで、子どもや高齢者、障がい者の安全が確保されています。

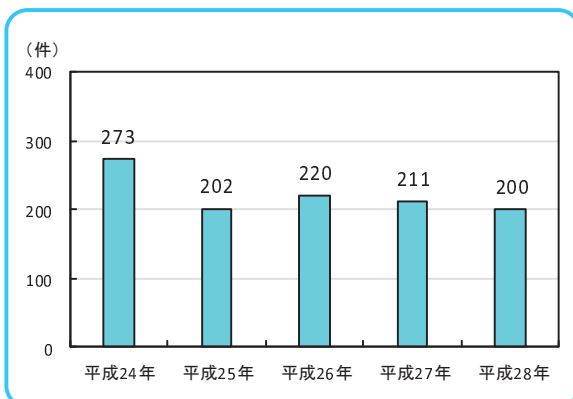
### めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①交通事故発生件数	件/年	167	157	減少を目指す
②交通事故死傷者数	人	196	173	減少を目指す
③市民交通災害共済*の加入率	%	36	36	現状レベルを維持する

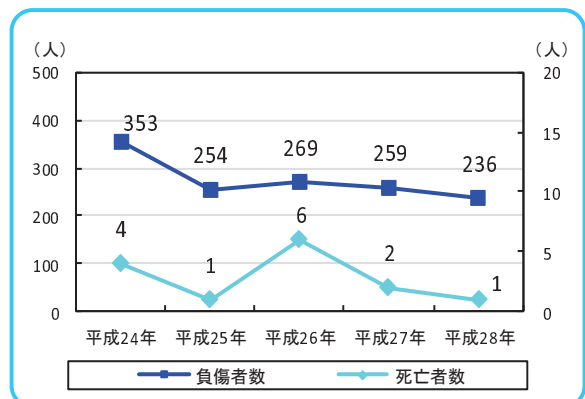
### 現状と課題

- 近年の交通事故の特徴は、子どもや高齢者が交通事故に巻き込まれるケースや高齢者の運転する車による事故が増加するとともに、夕暮時及び歩行中に多く発生しています。さらに、飲酒運転やスピード違反等を原因とする悪質な交通事故は、依然として減少が見られない状況です。
- 交通事故を減少させるためには、警察をはじめ関係機関や民間団体との連携のもとに、交通安全に向けた教育の充実や普及・啓発活動を積極的に推進し、市民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図る必要があります。
- 子どもや高齢者を交通事故から守るため、地域住民や行政が一体となって、安全な交通環境の整備を図る必要があります。
- 交通事故により、災害を受けた方を対象に、救済を目的とした市民交通災害共済事業を行っています。万一の交通事故災害に備えて、今後も引き続き、制度の周知・啓発を図り、加入促進に努める必要があります。

#### 交通事故発生件数の推移



#### 交通事故死傷者数の推移





## ■ 主要な取組み

取組み		内容
①	交通安全意識の啓発	警察をはじめ関係機関や民間団体と連携して、交通安全運動を展開し、交通ルールの遵守徹底など交通安全意識の啓発に努めます。 子どもや高齢者など各世代に応じた交通安全教育の推進に努めます。 シートベルト着用などを促す街頭活動や交通指導員の協力による通学路の安全確保など、市民や地域が一体となった交通安全活動を推進します。
②	交通安全環境の整備	道路反射鏡や道路照明等の交通安全施設の整備を図るとともに、適正な管理を行うことで事故の防止に努めます。 交通情勢の変化に応じて、必要な箇所については、信号機・交通標識の設置や交通規制の実施を関係機関に要望していきます。
③	交通事故被害者救済対策の充実	万一の交通事故災害に備えて、市民交通災害共済制度の周知・啓発を図り、加入促進に努めます。

## ■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 交通安全教室に参加して、交通ルールとマナーを熟知し、交通事故の防止に努めます。	市民	主要な取組み : ① 成果指標 : ①
② 交通災害共済制度に加入し、被災者を会員相互による助け合いで支えます。	市民	主要な取組み : ③ 成果指標 : ③

【主な部門別計画】 第10次白河市交通安全計画

## 施策 1-4 防犯・消費生活対策の充実

### めざすまちの姿

自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、地域自衛型の防犯活動が行われ、地域社会において犯罪や事件の起きにくい防犯体制が整っています。

消費者トラブルに巻きこまれない対策が適切に行われ、日常生活の安心が確保されています。

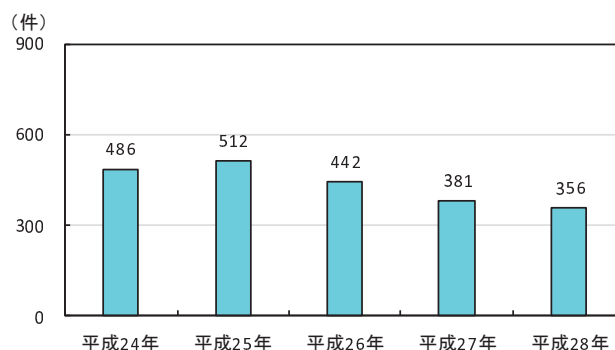
### めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	件／年	315	284	減少を目指す
②消費生活センターへの相談件数	件／年	310	300	減少を目指す

### 現状と課題

- 全国的に子どもや高齢者を狙った犯罪が増えており、地域での見守り活動など、地域が一体となった防犯体制づくりが必要です。
- 地域においては、自主的な防犯活動が展開されており、今後のさらなる発展に向け、防犯意識の高揚に努めながら、団体間の連携・協力体制の充実が必要です。
- 道路、街路灯、歩道等については、防犯に配慮した整備や管理を推進する必要があります。
- 消費者を取り巻く環境は、情報通信技術の発展、消費生活の多様化・高度化が進み、消費者問題は相談内容の複雑化・高度化・長期化し、消費者トラブルは増加傾向にあるため、消費生活センターにおける消費生活行政の充実と消費生活相談員の質の向上が必要です。
- 「しらかわ地域定住自立圏形成協定」による県南9市町村による消費生活センター運営の連携により県南地域の消費生活センターとして運営をする上で、県消費生活センターや関係機関等と緊密に連携し、消費生活相談や啓発活動の充実に取り組む必要があります。

### 犯罪発生件数（刑法犯認知件数）の推移



資料：白河警察署（白河市内）





## ■ 主要な取組み

取組み		内容
①	防犯意識の啓発	パンフレットの作成や広報紙・ホームページ等による情報提供に努め、防犯意識の向上を図ります。
②	防犯体制の充実	警察や地域、関係機関・団体とのさらなる連携の充実を図るとともに、市民が主体的に行う防犯活動の育成と支援を推進します。 防犯指導隊の活動をさらに充実させ、地域全体で防犯力を高める取り組みを実施します。
③	防犯施設等の整備	街路灯等の防犯上必要な施設の整備を推進するとともに、道路・公園等の樹木を適切に管理し、死角をつくらないなど、防犯に配慮していきます。
④	消費相談体制の充実	消費者トラブルが複雑化、多様化、長期化する傾向にあるため、消費生活センターにおける関係機関との連絡体制の強化や相談員研修の充実による質の高い相談体制の強化を図ります。また、無料法律相談を実施し消費者問題に対し適切に対応します。
⑤	消費者の意識・知識の啓発	消費者トラブルの対処方法や頻発している問題事例などの情報を提供できるよう努め、警察署など関係機関との連携を強化し、啓発活動を推進します。

## ■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 犯罪等による被害から身を守るため、防犯や消費者トラブルに関する基本的な知識の習得に努めます。	市民	主要な取組み : ①、⑤ 成果指標 : ①、②
② 地域に暮らす誰もが安全・安心に暮らせるよう、地域ぐるみでパトロールや見守りを行います。	市民、団体、関係機関	主要な取組み : ② 成果指標 : ①

## 施策 1-5 原子力災害対策の推進

### めざすまちの姿

放射性物質による環境汚染への対処が行われ、市内全域が放射線から安全な地域となり、市民が安心して元の生活を送れています。

### めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①除去土壌等の中間貯蔵施設*への搬出量	m <sup>3</sup>	24,529	280,083	増加を目指す

### 現状と課題

- 公共施設や個人住宅などの除染事業を実施したことにより、市内の空間放射線量が低減しています。
- 除染効果の維持を確認するため、空間放射線量モニタリング\*を継続して実施していく必要があります。
- 市内の仮置場で安全に管理・保管している除去土壌等の搬出について、安全かつ確実な輸送が求められていることから、関係機関へ働きかけていく必要があります。

### 市内の空間線量率\*（市内14地区）

【除染作業前】			【詳細事後モニタリング】		
地区	平均空間線量率	空間線量率（最小～最大）	平均空間線量率	空間線量率（最小～最大）	低減率
旧白河町地区	0.49 μSv/h	0.20 ~ 0.85 μSv/h	0.11 μSv/h	0.03 ~ 0.27 μSv/h	77.55 %
大沼地区	0.45 μSv/h	0.28 ~ 0.64 μSv/h	0.11 μSv/h	0.06 ~ 0.20 μSv/h	75.56 %
白坂地区	0.61 μSv/h	0.39 ~ 1.16 μSv/h	0.11 μSv/h	0.03 ~ 0.26 μSv/h	81.97 %
小田川地区	0.66 μSv/h	0.40 ~ 1.14 μSv/h	0.13 μSv/h	0.06 ~ 0.38 μSv/h	80.30 %
五箇地区	0.34 μSv/h	0.24 ~ 0.55 μSv/h	0.09 μSv/h	0.05 ~ 0.17 μSv/h	73.53 %
関辺地区	0.37 μSv/h	0.24 ~ 0.53 μSv/h	0.10 μSv/h	0.06 ~ 0.21 μSv/h	72.97 %
旗宿地区	0.47 μSv/h	0.34 ~ 0.66 μSv/h	0.13 μSv/h	0.05 ~ 0.27 μSv/h	72.34 %
旧表郷村古閑地区	0.33 μSv/h	0.22 ~ 0.50 μSv/h	0.10 μSv/h	0.06 ~ 0.19 μSv/h	69.70 %
旧表郷村金山地区	0.30 μSv/h	0.22 ~ 0.58 μSv/h	0.10 μSv/h	0.06 ~ 0.20 μSv/h	66.67 %
旧表郷村社地区	0.28 μSv/h	0.23 ~ 0.38 μSv/h	0.09 μSv/h	0.06 ~ 0.19 μSv/h	67.86 %
旧大厩村信夫地区	0.66 μSv/h	0.25 ~ 1.82 μSv/h	0.16 μSv/h	0.09 ~ 0.41 μSv/h	75.76 %
旧大厩村大屋地区	0.76 μSv/h	0.35 ~ 1.57 μSv/h	0.14 μSv/h	0.06 ~ 0.51 μSv/h	81.58 %
旧東村釜子地区	0.27 μSv/h	0.17 ~ 0.40 μSv/h	0.09 μSv/h	0.05 ~ 0.17 μSv/h	66.67 %
旧東村小野田地区	0.24 μSv/h	0.12 ~ 0.35 μSv/h	0.09 μSv/h	0.06 ~ 0.12 μSv/h	62.50 %

※測定器：日立アロカメディカル㈱ TCS-172B

※測定位置：地上1m（除染関係ガイドライン 測定方法）

資料：環境保全課



## ■ 主要な取組み

取組み		内容
①	放射線量の把握	国・県及び関係機関と連携して、空間放射線量モニタリングを継続的に行うとともに、市民に分かりやすく公表します。
②	除去土壌等の管理	除染で発生した除去土壌等を、中間貯蔵施設への搬出が完了するまで、仮置場で安全に保管・管理します。
③	除去土壌等の搬出	各仮置場で安全に保管・管理している除去土壌等は、国により中間貯蔵施設へ搬出されることから、引き続き搬出量等について協議を進めます。
④	原子力損害賠償請求の案内	東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により、被害を受けられた市民に損害賠償等に関する相談窓口などを案内します。

## ■ めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 市内の放射線量の現状について、正確な情報の把握に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：—

【主な部門別計画】 白河市除染実施計画